

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (2 — 201)

団体名	(一社)ウィンウィン	代表者名	(職名) (氏名) 理事長 寺井 康裕
事業名	家族(子と親)が幸せになる人権を支援する社会教育事業		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎○曜日」等で 記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
R6年5月25日	東灘区文化センター	74人 (2人)	講演会「ほんまもんの家族(愛をばらまけ)」 講師 西田好子(メダテ教会牧師) 魂をぶつけ合う愛が“生き直せる”勇気を引き出す
R6年9月21日	御影公会堂	50人 (5人)	自主上映会「夢みる少学校完結編」 “自己肯定感とやり抜く力”を引き出すことで、子どもが 勇気をもって実行できる環境づくりが大事
R6年11月23日	御影公会堂	40人 (5人)	自主上映会「夢みる校長先生」 公教育が自由な思考や革新的な発想を促進すべく子どもの 自発性を引き出す“新たな試み”が必要
R6年12月21日	中央区文化センター	22人 (2人)	「こども基本法」学習会 講師：桜井智恵子(関西学院大学教授) “こどもの表明権”をフォローする真のケアが必要
R7年2月1日	あすてっぶK O B E	58人 (2人)	対話セミナー「不登校ひきこもりの親が幸せな理由」 講師：後藤誠子・匡人親子 何でも“笑いの種”にすれば、幸せが押し寄せる
R7年2月9日	神戸市立魚崎小学校 せせらぎホール	20人 (2人)	講演会「コミュニティスクール」 講師：押田貴久(兵庫教育大学准教授) 人がつながり、ともに創る“みんなの学校”

< 効果と成果 >

1) 効果：子どもと子育て世代への支援活動を通して、自由な子ども(子ども本来の姿)を創出する機会づくりに取り組みました。公教育という既存常識から発想の転換を図り、感情の・知性の・社会的な自由を発揮することで精神的幸福度を高めました。地域内のデリケートな問題を抱える当事者(不登校・虐待・いじめ・自殺の被害者)や家族に対し、子どもの心の深層に潜む自己否定感情・憎悪に「自分のままでいいんだよ」と肯定的なメッセージを与え、子どもの“味方づくり”を支援します。

2) 成果：1. 家族&教育がテーマの講演会活動 少子化・単身化・孤立化が蔓延する中で、血縁なしの“家族機能の社会化”の必要性をアピール。こども基本法、特に子どもの表明権を後押しするには“保護者や地域支援”が最重要課題だと強調。後藤親子の対話セミナーで、当事者と親でなく“地域ケア”が当人たちに温かい光をもたらすエンパワーの重要性を認識。2. 子ども本来の自由と創造を引き出す上映会活動：「夢みる少学校完結編」では、子どもの問題は当事者と教師だけでなく、支援する保護者・地域等“大人たちの課題”にも言及。「夢みる校長先生」を鑑賞して、不登校という現象が従来からの伝統的な教育システム(画一的・前例主義)に対する子どもたちの無言の異議申し立てであり、同視線に立って保護者・地域が内容共有することで“人間らしい教育”のあり方の再構築が必要。

<今後の展望>

今年度の自主上映会活動を通して、不登校の保護者グループと縁ができ情報を共有することでその後の協働企画運営としての講演会が開催できました。

それと併行して地域で社会活動をしている人々がつながって子どもも大人も安心して暮らせる地域を作っていこうという想いをもって東灘区をコアに「まるごと（地域ケアシステム）」を組織しました。

福祉と教育を源に「地域と学校、福祉教育と地域福祉」について、“包括的支援&重層的支援体制整備”を推進します。

<収支決算書> (収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	250,000
事業収入等	190,146
合 計	440,146

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	50,000	30,000
	講演謝金	154,280	100,000
	上映費	100,000	100,000
	その他（会議費等）	135,866	20,000
	小 計	440,146	250,000
間接経費（一般管理費）		0	0
合 計		440,146	250,000